

# 代替医療

## 最新ガイド

がんの医療現場における補完代替医療の問題点として、次の2点が挙げられます。一つ目は、確かな情報がないままに、がん患者が代替医療を利用してのことです。次いで、がん患者と医療従事者との間に代替医療に関して十分なコミュニケーションがとられていないことです。



大野 智 大野 智を米国立衛生研究所のデータベースで調査しています。

そこで、厚生労働省は05年度から研究班（住吉義光班長）を組織し、次の二つの取り組みを始めました。一つは、がんの代替医療（サプリメント、アロマセラピーなど）に関して、人での科学的検証を行うことです。二つ目は、患者や医療従事者に有用な情報を提供し、代替医療に関して良好なコミュニケーションができるよう促すことです。

## 利用してほしい厚労省ガイドブック

その成果として、今年4月、研究班はがん患者向けの情報提供資料「がんの補完代替医療ガイドブック」を作成しました。これは「活用編」と「資料編」の2部構成になっています。

活用編では、代替医療を利用する前には、広く情報を集め、有効性や安全性、費用などを検討する必要があると注意を促しています。また、インターネットや書籍から情報を収集するときは、情報の出典が事実に基づいているかどうか、製品を勧めたり販売したりしていないかなど、チェックポイントを掲載しています。

資料編では、「直接的な治療効果を証明する報告はほとんどない」と結論づけています。この結論にびっくりなさった方がいらっしゃるかもしれません。誤解しないでいただきたいのは、「治療効果を証明する報告はない」ということと「治療効果はない」ということは違うということです。

ですが、「治療効果があるのかわからないのかわからない」という状態の中で、多くの不確かなことが代替医療の名のもとに漫然と継続されることは決して許されることではありません。したがって、この研究班では、ひとつひとつ客観的な評価をすべく代替医療の臨床試験に取り組んでいます。

活用編では、代替医療を利用する前には、広く情報を集め、有効性や安全性、費用などを検討する必要があると注意を促しています。また、インターネットや書籍から情報を収集するときは、情報の出典が事実に基づいているかどうか、製品を勧めたり販売したりしていないかなど、チェックポイントを掲載しています。

さらに、代替医療を実際に利用する場合に一番大切なこ

として、患者の体の状態がよくわかっていない主治医や看護師、薬剤師など医療従事者に、代替医療の利用を事前に相談することを勧めます。

資料編では、がん患者の間で利用頻度の高い健康補助食品（アガリクス、プロポリス、AHC、サメ軟骨、メシマコブ）に関する文献を米国立衛生研究所のデータベースで調査しています。

その結果、「直接的な治療効果を証明する報告はほとんどない」と結論づけています。この結論にびっくりなさった方がいらっしゃるかもしれません。誤解しないでいただきたいのは、「治療効果を証明する報告はない」ということと「治療効果はない」ということは違うということです。

ですが、「治療効果があるのかわからないのかわからない」という状態の中で、多くの不確かなことが代替医療の名のもとに漫然と継続されることは決して許されることではありません。したがって、この研究班では、ひとつひとつ客観的な評価をすべく代替医療の臨床試験に取り組んでいます。

次回からアガリクスなど個別の問題を解説していきます。ガイドブック（無料）を希望する方は、200円切手を張ったA4判の返信用封筒を同封し、〒920-8640金沢市宝町13の1、金沢大学大学院医学系研究科、補完代替医療学講座・ガイドブック係へ申し込んでください。（金沢大学補完代替医療学特任助教）

がんの補完代替医療ガイドブック

このガイドブックは、厚生労働省「がん」の治癒を急がず、がん患者の生活の質を高める補完代替医療（コンプリメンタリー・オルタナティブ・メディシン：CAM）を、どのように向き合い、利用したら良いかを考えるためのものです。

「専門雑誌に掲載された論文」や「各国の研究機関の発表」などの内容を整理して、書えるような方法を提供しています。ですから、おぼろげなままに安易に信じて、安易に治療を受けることを避けたい方は、ぜひこのガイドブックを参考にしてください。

また、このガイドブックは治療編と資料編の二部構成になっています。あなた自身もしくは家族、友人の方が「がん」になり、もし補完代替医療に関心をもたれたら、まず治療編を目を通してください。さらに詳しい情報を知りたい場合は、資料編をお読みください。

このガイドブックが、今後の治療に少しでもお役に立つことができれば幸いです。

編集：厚生労働省がん研究助成金  
「がんの代替医療法の科学的検証と臨床応用に関する研究」班  
編集長：金沢大学補完代替医療学講座 住吉義光

厚生労働省が作成したガイドブック